届け 世界の果てまでも

令和４年１１月２４日　　Ｎｏ．４７　　文責　校長　飯久保一男

情けは人のためならず

次のコラムを読んだところ，私の頭の中に様々な「やさしさ」に関わる話が次々と浮かんできました。

６年生のＮくんは家族とスーパーマーケットに行き，食品売り場でお菓子を買った。全部で４８５円だった。レジで１，０００円札を出しておつりを受け取った。ところが，家に帰ってみるとポケットには１５円しか入っていなかった。５００円玉をどこかで落としたのだ。父親の車で行ったので，車の中を捜したが見つからない。１，０００円は，その日にもらったばかりのお小遣いだったので，とてもショックだった。落ち込んでいると，母親に「お店に聞いてみたら」と言われ電話をしてみた。すると，レジの近くに５００円玉が落ちていたので，預かっているとのことだった。うれしくて，父親にお願いして大急ぎで受け取りに行った。

Ｎくんは，もし自分がお金を拾ったとしたらどうするだろうかと考えた。自分の心の中には，２人の自分がいる。１人目の自分は「ラッキーじゃん。お金に名前が書いてあるわけじゃないし，自分のものにしちゃいなよ」と言う。もう１人の自分は「ちゃんと届けるべきだよ」と言う。迷うにちがいない。「でも，最終的には届けると思う」と考えた。それはなぜか。

いつも父親に，いろいろなことを教わっている。例えば「人が嫌がることでも人のためになることはしっかりやるんだぞ」など。だから，掃除をすすんでやるようにしている。

また「人にしてもらったことはけっして忘れてはいけない」とも言われている。だから，今回お金を拾ってくれた人に心から感謝している。でも，お店の人に尋ねたが，誰が届けてくれたのかわからない。「だからこの気持ちを伝えたくて投稿しました。本当にありがとうございました」とＮくんは言った。

中日新聞「ほろほろ通信」より

修学旅行中に，子どもが財布を置き忘れることがあります。普段，財布を持ち慣れていないということや，買い物に夢中になってしまうことなどが原因だと思われます。そして，その財布が結構な確率で戻ってくるのです。人々のやさしさを感じます。

「情けは人のためならず」とは有名なことわざです。

すぐ知識をひけらかそうとするのは教員（私の？）のよくないクセだと思います…。文化庁の「国語に関する世論調査」によると，４５.７％の人が「人に情けをかけて助けてやることはその人のためにならない」と間違った意味を回答しています。「ならず」を現代語に直しますと，「情けは人のためではない」となりますので，情けをかけることは人のためではなく，めぐりめぐって自分のためになるという意味です。語源は，鎌倉時代の「曽我物語」に記述されている「情けは人の為ならず。めぐりめぐって己がため。」という言葉であるといわれています。

コラムのＮくんは，次にお店でお金やものが落ちていたら，きっとお店や警察に届けると思います。

やさしくされた経験のある人は，人にやさしくしようとします。

冒頭に書きましたが，さらに「やさしさ」に関わる話が浮かんできてしまいました…。裏面へどうぞ。

東日本大震災のあと，世界中の国々からたくさんの義援金や支援物資が日本に届けられました。「私たちは日本とともにいる」といったメッセージも多くありました。これは，東日本大震災が未曽有の災害であったこともありますが，日本がそれまでに多くの国々へ支援をしてきたことへの感謝や恩返しの意味が込められています。日本のそれまでの「やさしさ」に世界中がこぞって報いてくれたのです。

今まで日本が支援をした国々は「日本がきてくれた」「日本がきてくれれば安心だ」「日本が助けてくれる」などとインフラの技術提供や協力などをはじめ，日本の質の高い技術や活動に感謝をしてくれています。

…ここまで書いて，２つの国と日本との関係が頭に浮かんできました。

【日本と台湾】

台湾での日本の救援隊の活動の様子と感謝の気持ちが表れた台湾の切手

○１９９９年，台湾の中部をマグニチュード７.７の地震が襲いました。そのとき，最初に台湾に駆けつけたのは日本の救援隊でした。日本の救援隊の活動に台湾の人々は感動し，とても感謝をしたそうです。日本の救援隊はハイテク機器を駆使して，昼夜問わず瓦礫（がれき）の下から生存者を救出し続けました。そして，残念ながら救助できずに，亡くなった人が発見されると，遺体の前に整列し，頭を垂れて黙祷（もくとう）をしたのでした。

○日本の救援隊が活動を終えて帰国するため，台湾の空港に現れたとき，台湾の空港の職員は，全員が総立ちとなって深々と最敬礼をしました。ごったがえしていた空港にいた人々も全員，日本の救援隊を拍手で見送ったそうです。感涙に咽ぶ人もいたということです。

○東日本大震災後，台湾から１５７億円もの義援金が届けられました。アメリカからの義援金が約１００億円であったことを考えますと，アメリカの１０分の１以下の人口の台湾からこれほどの額が届けられたのは，もともと日本と台湾が交友関係にあったこともありますが，台湾中部地震での日本救援隊の活動をはじめとする様々な支援への恩返しの気持ちからだと考えられます。

【日本とトルコ】　　…「海の翼」という長編小説になっている話です。

○１８９０年，日本を訪れたトルコの軍艦エルツゥールル号が和歌山県沖で遭難し，５００名以上の犠牲者を出しました。近くの大島村に流れ着いた生存者たちを，住民たちは総出で救助し，生存者を献身的に介抱し，自分たちの少ない食料を提供して，６９名を助けることができました。

○それから１００年近く経った１９８５年のイラン・イラク戦争のときのことです。イラクは「４８時間後にイランの上空を飛ぶ飛行機を無差別に攻撃する」と一方的に宣言しました。イランに住んでいた日本の人々は慌てて空港に向かい，イランから出国しようとしましたが，どの飛行機も満席で搭乗することができず，２１５名の日本人がイランに取り残されました。他の国は救援機を出して自国民を救出しました。しかし，日本は当時，自衛隊は海外に派遣ができない制約があり，日本の航空会社は安全の保証がないために臨時便を出せませんでした。そんな状況のとき，イランの日本大使館にトルコの大使から連絡が入ったのです。

「直ちに救援機を手配します。エルツゥールル号遭難のときのご恩はトルコ人なら誰もが知っています。恩返しをさせてください。」

その言葉通り，トルコの航空機が素早く手配され，イランにいた日本人は全員が救出されました。タイムリミットの１時間前のことでした。イランには多くのトルコ人もいましたが，トルコ航空機は日本人の救出に使われ，イランにいたトルコの人々は陸路で避難をしたとのことでした。

外国の方々が日本に恩を感じて，その恩に報いてくれたことに感動します。「情けは人のためならず」とは，やさしくした人からの見返りを期待することではありません。やさしくしたことが，めぐりめぐって返ってくることです。日本の先人が他の国を支援し，他の国にやさしくしたことが，その後の日本に返ってきた話へと飛躍しましたが，誰かにやさしくしたことが，自分の子どもに返ってくることもありえる話です。私たち大人のやさしさが，めぐりめぐって次の時代を担う子どもたちに返ってくるようにすることは，大人の責任の一つだと思います。　　…お金を拾ってもらったＮくんの話から，グローバルな話へふくらんだ校長通信にしてしまいました。

…次号から「やさしさ」について考えてみたいと思います。